

2022年度 こころの相談室(Time-Space Spirit)

TSS セミナー

(スタッフ:吉延創・岡本太郎・村上真弓・上原拓海 顧問:土沼雅子)

2022年度の TSS セミナーのご案内です。

臨床家、教育者などの援助職のかたがたの自己実現と癒しを目的に、自他尊重の精神を中心に横のつながり、縦のつながりを大切にしています。

2022 年度は、2021 年度にご好評いただいた GSV とこころコミュニオンの開催に加え、こころヨガもオンラインで開催します。気づきと成長の 1 年にしましょう。皆さんに会えることを楽しみにしています。

2022年 4 月～2023年3月 (基本的には第 4 週の日曜日ですが、連休と重なる場合などはずらしています。日程ご確認ください)

研修会・セミナー	開催日・時間・料金	概要	スタッフ
グループ・スーパーヴィジョン Online 《PCAGIP 方式》 *臨床心理士資格認定協会 に研修機会として申請予定	9:00～12:00	GSV は PCAGIP 方式で行います。 事例提供者には事例資料(B5 用紙 1 枚程度、5行程度)を用意していただきます。その少ない情報から、参加者 1 人 1 人の質問によって理解し構成していきます。 PCAGIP は参加者全員で考え、気づきを深めていく事例検討方式です。(詳細は別紙参照)	ファシリテーター 吉延創 上原拓海
	2022 年:5/22・7/28・9/11・ 10/2・11/27		
	2023 年:1/22・3/26		
	受講料:20,000円 (全 7 回分/前納)		
こころヨガ Online *終了後に、こころコミュニオンが開催されますが、こころヨガのみに参加することも可能です。	9:00～10:30	ヨガはサンスクリット語で”つながる・つなぐ”という意味があります。こころヨガではハタヨガを通して、心と身体、呼吸を丁寧に見つめ、味わい、今この瞬間に存在する自分にコンタクトします。ポーズをとって終わりにせず、体験をシェアリングすることで、自己理解や他者理解を深めていきます。(詳細は別紙参照)	ファシリテーター 村上真弓
	2022年:4/24・6/26・8/28・ 10/23・12/18		
	2023年:2/26		
	参加費:9000 円 (全 6 回分/前納)		
こころコミュニオン Online *こころヨガ後に開催ですがこころコミュニオンのみに参加することも可能です。	11:00～13:00	自由にメンバーと語り合い、こころ、スピリットと交流する場(ミニエンカウンター、交流会)です。日々の喧騒の中で見逃しがちな自分のこころの内側に目を向け、他者の話に耳を傾けることで、そっと気づけるものがあるかもしれません。安心できる場をメンバー皆で作っていきます。好きなおやつや飲みものを片手に自由に語りませんか。	ファシリテーター 吉延創
	2022年:4/24・6/26・8/28・ 10/23・12/18		
	2023年:2/26		
	参加費:6000円 (全 6 回分/前納)		

定員:各10名(人数が達し次第締め切ります)

参加資格

GSV・コミュニオン:①対人援助職の方 ②対人援助職を志す大学院生(年齢・経歴は不問)
こころヨガ:どなたでも OK です

参加申し込み方法

こころの相談室 Time Space Sprit(<http://kokoro-tss.com/wp/>)
『2022年度 TSS セミナー』申し込み欄に必要事項を記入しお申込みください。
申し込みを受け付け次第スタッフからご連絡させていただきます。

2022

TSS セミナー予定表

■ : GSV ■ : yoga/コミュニケーション

4月

04

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

05

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

06

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

07

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

08

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

09

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

10

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

11

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

12

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

1

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

2

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

3

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

—オンラインセミナー参加誓約事項—

TSS セミナーへのオンライン(ネットワーク経由)参加をいただくにあたり、下記の誓約事項等をご確認とご了承の上、お申し込みください。TSS セミナーへの申し込みをもって同意されたものとみなします。下記の誓約事項が守られなかった場合、参加をお断りする場合がございますが、これに伴う参加費の返金や補償はありません。

1)セミナー内で知り得た情報の守秘義務を遵守します。

2)セミナー内容を録画・録音はしません。

3)セミナーには申込者本人のみが参加します。

4)Web(Zoom)上の会議室のアドレス、ID、パスワードの適切な管理に努め、他者と共有しません。

5)受講場所は、セミナー等に集中でき、他者に情報が漏れない環境を確保します。
(大勢が在室する執務室やカフェ等では受講しません。)

6)受講に必要な PC・デバイス等の設備一式は準備し、セキュリティが保たれたネットワーク環境を確保し、使用します。

(フリーの WiFi 等暗号化されていないネットワークは使用しません。)

グループ・スーパーヴィジョン(GSV)

～PCAGIP(パーソン・センタード・アプローチ・グループ・インシデント・プロセス)～

PCAGIP とは

PCAGIP とは、Person-Centered Approach の考え方を援用して、事例提供者が、自分自身でその事例を扱っていくための力(資源)が発現するように、グループに参加している全員が1つのチームとして関わりながら進めていく GSV です。

主役は「事例」ではなく「事例提供者」

PCAGIP では事例提供者が「事例を出してよかった」と元気になれることを大きな目標としています。従って、必ずしも結論が出るとは限りません。むしろ、事例提供者の引き出しを増やすことが目的になります。

参加者全員が GSV の重要な構成メンバー

事例提供者以外の参加者は研修受講者のような受け身的な学習をするのではなく、同じチームの一員として一緒に考え、グループの参加者みんなで作っていくイメージを大切にしていきます。その場にいる全員がその場にとって重要な構成メンバーであり、それぞれがそれぞれのあり方で場に関与し、それぞれの考え方や感じ方を大事にしていくグループです。

長い発表資料は不要

事例提供者が用意するものは事例資料(B5 用紙 1 枚程度、5行程度)だけです。事例提供者になったからといって長い発表資料を作成する必要はありません。また、どんな悩みでも「事例提供者」になることができます。むしろ大事なのは、提出した事例の解決や取り組みにどれだけ必要性を感じているかということです。

1人1人の自己成長のための GSV

他の人の提供する事例に対して、1人1人が積極的に考え、一緒に関わっていくことで、他の人の事例であっても自分自身について考えることが多くなるはずです。そこから1人1人を成長させるヒントを見つけていけるかもしれません。

参考文献

『新しい事例検討法 PCAGIP 入門
パーソン・センタード・アプローチの視点から』
村山正治・中田行重 編著、創元社